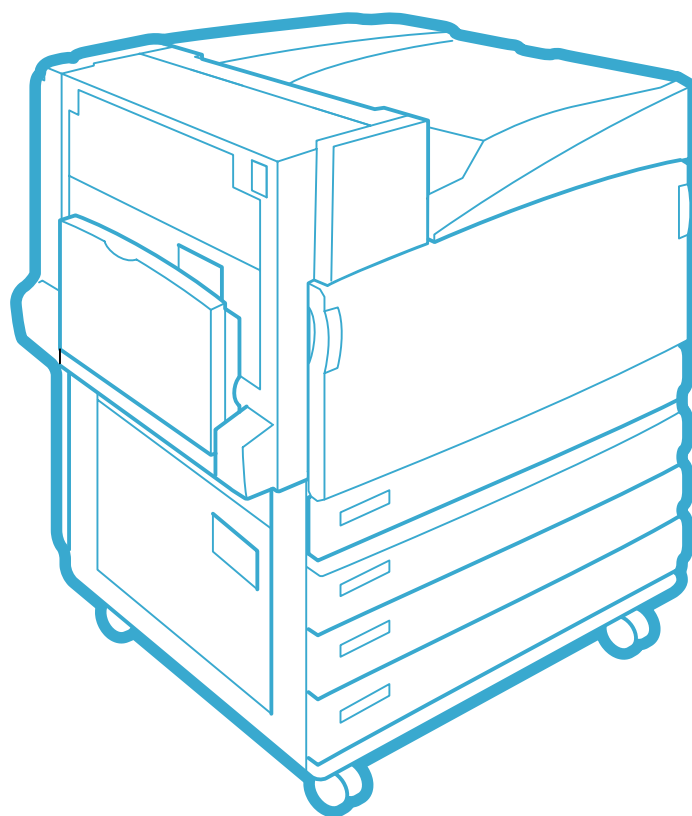


IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター

取扱説明書



プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

「XEROX」「The Document Company」「Ethernet(イーサネット)」は、登録商標です。
「DocuWorks」「CentreWare」は、商標です。
「Adobe」「Adobeロゴ」「PostScript」「PostScript 3」「PostScriptロゴ」は、
Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。
「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における
登録商標です。
「HP」「HP-GL」「HP-GL/2」「HP-UX」は、日本ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
「NetWare」は、Novell, Inc.の登録商標です。
「Macintosh」「漢字Talk」「MacOS」「AppleTalk」「EtherTalk」「TrueType」は、
Apple Computer, Inc.の登録商標です。
「Intel」「Pentium」はIntel Corporationの商標または登録商標です。
「UNIX」は、X/OPEN Company Ltd.がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
「Solaris」「SunOS」「NIS(Network Information Services)」は、
米国サンマイクロシステムズの商標または登録商標です。
「平成明朝体W3」「平成角ゴシック体W5」は、財団法人日本規格協会フォント普及センターの商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を得ています。

本プリンターのソフトウェアには、the Independent JPEG Groupで作成されたコードの一部を利用しています。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。

ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

[IBM]は、IBM Corporationの商標です。

はじめに

このたびはIBM 5591 カラー・レーザー・プリンターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本製品をはじめてご使用になるかたを対象に、機械の操作方法、および使用上の注意事項について記載してあります。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書は、読んだあとも必ず保管してください。機械をご使用中に、操作上でわからないことや機械に不具合を生じたときに読み直してご活用いただけます。

本書で使用しているイラストは、両面印刷機能付きで3トレイキャビネットを装着したモデルを例に記載しています。

[お願い] 保証書は大切に保管してください。

2001年10月
日本アイ・ビー・エム株式会社

この取扱説明書のなかで △と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラス 1 のレーザーシステム」です。取扱説明書に従って操作してください。取扱説明書に書かれた以外の操作は行なわないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。



国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・ 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・ 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・ この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・ 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン(家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠)に適合しています。

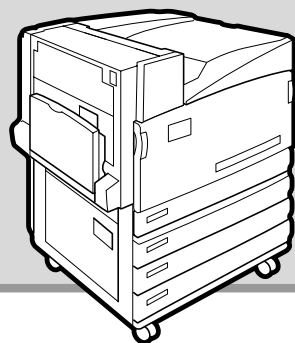
DocuPrint C2220/2221の特長

DocuPrint C2220/2221は、次のような特長があります。

カラーも白黒も 22枚/分で印刷できます。

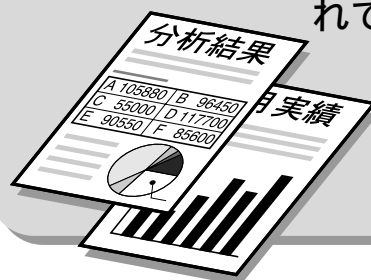
カラー、白黒ともに、
A4用紙に毎分22枚の
速さで印刷できます。

(同一原稿を連続印刷した場合)



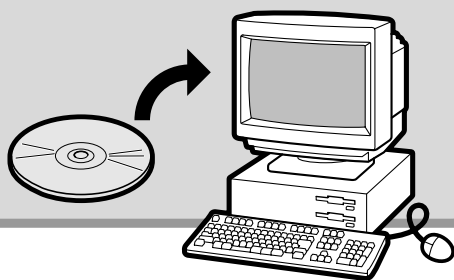
ビジネス文書に最適な 画質で印刷できます。

ワックストーナーとクイック
オイルレス定着技術の採用で、
ビジネス文書に多い黒文字は
読みやすく、グラフィックスや
写真は、カラー印刷特有の
テカリや、ギラツキが抑えら
れています。



プリンタードライバーの インストールや 設定が簡単です。

「CentreWare ドライバー &
ネットワークユーティリティー」
のCD-ROMにより、プリンター
ドライバーのインストールや
プリンターの設定などが、簡単
にできます。



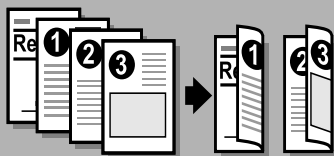
マルチクライアント環境を サポートします。

標準のページ記述言語
[ART EX]の他に、
[PostScript®ソフトウェア]
[ART /エミュレーション]
がオプションで用意されて
います。

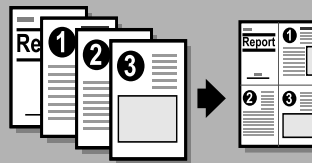
節約できます。

節電モード（スリープモード）で消費電力が節約できます。スリープモード時は、5W以下の消費電力で、国際エネルギースタープログラムに適合しています。

両面印刷



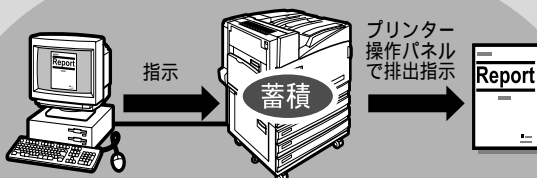
まとめて1枚



両面印刷したり（両面機能付きの場合のみ）、複数ページの原稿を1枚の用紙に印刷すると（まとめて1枚機能）、用紙が節約できます。

便利な印刷機能があります。

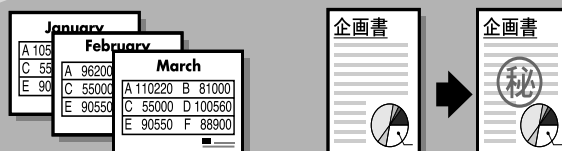
セキュリティープリント



印刷指示したデータを、いったん、プリンター本体に蓄積させて、実際の印刷は、本体の操作パネルで指示します。第三者に見られたくない文書、機密文書を印刷する場合に便利です。

* セキュリティープリントとフォーム機能には、オプションの内蔵増設ハードディスク装置が必要です。

スタンプ/フォーム



使用頻度の高い印刷フォームは、フォーム機能を利用すると、データ転送の時間が短縮できます。また、スタンプ機能では、印刷データにスタンプを重ね合わせて印刷できます。

目次

はじめに	
DocuPrint C2220/2221の特長	
目次	
マニュアル体系について	
本書の読み方	
安全にご利用いただくために	
国際エネルギースタープログラムの目的	

第1章 プリンター環境の設定

1.1	使用できる環境について	2
1.2	プリンター本体を簡単にセットアップする	6
1.3	プリンター環境の設定の流れ	8
1.4	IPアドレスを設定する	9
1.4.1	設定の流れ	9
1.4.2	アドレスの設定	11
1.5	ポートを設定する	14
1.5.1	ポートを起動する	14
1.5.2	SNMPエージェントを起動する	15
1.5.3	SMBのポート、プロトコルを起動する	17
1.6	メモリーの割り当てについて	19

第2章 プリンタードライバーのインストール

2.1	概要	24
2.1.1	クライアント環境	24
2.1.2	ネットワーク環境	24
2.1.3	プリンタードライバーのインストールについて	25
2.1.4	プリンタードライバーのアンインストールについて	26
2.1.5	TCP/IPプロトコルを使用する前の確認	26
2.2	プリンタードライバーをインストールする	27
2.2.1	ネットワーク上のプリンターへダイレクトに印刷する場合	27
2.2.2	SMBを使用して印刷する場合	32
2.2.3	サーバーを経由して印刷する場合	36
2.2.4	ローカルプリンターへ印刷する場合	40
2.3	最新プリンタードライバーの入手方法	45

第3章 印刷操作の前に

3.1	各部の名称と働き	48
3.1.1	本体	48
3.1.2	操作パネル	53
3.1.3	ディスプレイの表示について	54
3.2	電源を入れる/切る	56
3.2.1	電源を入れる	56
3.2.2	電源を切る	58
3.3	節電機能を利用する	59
3.3.1	節電機能を設定する	59
3.3.2	節電状態を解除する	60

第4章 印刷する

4.1	印刷の流れ(Windows®)	62
4.2	主な印刷機能一覧	63
4.2.1	印刷機能の設定について	63
4.2.2	オンラインヘルプの使い方	64
4.2.3	主な印刷機能一覧	65
4.3	印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する	77
4.3.1	クライアント側で印刷を中止する	77
4.3.2	プリンター側で印刷を中止する	78
4.3.3	印刷指示したジョブの状態を確認する	79
4.4	特殊用紙に印刷する	80
4.5	はがき/封筒/長尺サイズの内紙に印刷する	82
4.6	登録したフォームに印刷する(オーバーレイ印字)	85
4.6.1	フォームデータファイルを作成/登録する	85
4.6.2	フォームを使用して印刷する	87
4.7	非定形用紙に印刷する	88
4.7.1	非定形用紙を登録する	88
4.7.2	印刷の仕方	90
4.8	TrueTypeフォントの印刷方法を設定する	92
4.8.1	TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する	92
4.8.2	TrueTypeフォントの印刷方法を設定する	93
4.9	機密文書を印刷する(セキュリティープリント)	95
4.9.1	セキュリティープリントの登録をする	95
4.9.2	セキュリティープリントをする	96

4.10	印刷モードを設定する	100
4.11	画質を調整して印刷する	103
4.11.1	明度/彩度/コントラストを調整する	103
4.11.2	カラーバランスを調整する	105
4.11.3	デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性の違いを補正する	106

第5章 便利なツールを使用する

5.1	クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)	110
5.1.1	CentreWare Internet Servicesの概要	110
5.1.2	CentreWare Internet Servicesの画面構成	111
5.1.3	ブラウザーの設定	112
5.1.4	プロキシサーバーとポート番号について	113
5.1.5	プリンター側の設定	114
5.1.6	CentreWare Internet Servicesについて設定できる項目	115
5.1.7	CentreWare Internet Servicesを使用する	115
5.1.8	CentreWare Internet Services使用時のトラブル	117

第6章 日常管理

6.1	用紙をセットする	120
6.1.1	用紙について	120
6.1.2	用紙をセットする	124
6.1.3	用紙トレイ1~4の用紙サイズを変更する	131
6.2	消耗品を交換する	134
6.2.1	消耗品/メンテナンス品について	134
6.2.2	トナーカートリッジを交換する	135
6.2.3	ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する	138
6.2.4	トナー回収ボトル[B]を交換する	142
6.2.5	フューザーカートリッジ[E]を交換する(メンテナンス品)	146
6.3	レポート/リストを印刷する	149
6.3.1	レポート/リストの種類	149
6.3.2	レポート/リストを印刷する	166
6.4	総印刷枚数を確認する	167
6.4.1	メーターで総印刷枚数を確認する	167
6.4.2	プリンター出力集計レポートで総印刷枚数を確認する	168
6.5	階調を補正する	172
6.5.1	階調補正とは	172
6.5.2	階調補正を実行する	172
6.6	プリンターを清掃する	181

第7章 トラブル対処方法

7.1	トラブル対処の仕方	184
7.1.1	トラブル対処の流れ	184
7.1.2	故障かなと思う前に	185
7.2	プリンターの紙づまりを処置する	188
7.2.1	用紙トレイ1~4でつまっている用紙を取り除く	189
7.2.2	大容量トレイでつまっている用紙を取り除く	190
7.2.3	用紙トレイ5(手差し)でつまっている用紙を取り除く	192
7.2.4	R1カバー内でつまっている用紙を取り除く	192
7.2.5	R2カバー内でつまっている用紙を取り除く	193
7.2.6	R3カバー内でつまっている用紙を取り除く	194
7.2.7	R4カバー内でつまっている用紙を取り除く	195
7.3	印字品質が悪いとき	200
7.4	ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧	204
7.4.1	メッセージ一覧(50音順)	204
7.4.2	エラーコード一覧(50音順)	215
7.5	TCP/IP環境使用時のトラブル	219
7.5.1	Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合	219
7.5.2	Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合	220
7.6	印刷データを強制的に排出させる	221

第8章 共通メニューの設定

8.1	共通メニューの概要	224
8.1.1	メニューについて	224
8.1.2	共通メニューについて	225
8.2	共通メニューの設定を変更する	228
8.2.1	共通メニューの項目一覧	228
8.2.2	共通メニューの設定を変更する	245
8.3	共通メニュー一覧	246

第9章 ネットワーク環境の設定について

9.1	Windows® ネットワーク(SMB)環境での設定について	252
9.1.1	SMBの設定の流れ	252
9.1.2	SMBの設定の変更	255
9.1.3	プリンタードライバーの自動ダウンロード	259
9.2	NetWare®環境での設定について	260

9.3	UNIX環境での設定について	263
9.4	インターネット印刷での設定について	264
9.4.1	インターネット印刷の設定の流れ	264
9.4.2	プリンター側の設定	265
9.5	共有プリンターの設定について	267

付録

A	主な仕様	270
A.1	製品の仕様	270
A.2	印刷できる領域	272
A.3	内蔵フォント	272
A.4	パラレルインターフェイス	274
B	オプション製品一覧	276
C	注意/制限事項について	277
C.1	本体の注意と制限	277
C.2	TCP/IP(Lpd)	278
D	用語集	280
E	Q & A	282
F	プリンター本体のソフトウェアのバージョンアップについて	285
索引	286

マニュアルコメント用紙

マニュアル体系について

ここでは、本製品に同梱されているマニュアルの種類と、その概要を説明します。

マニュアルの種類

この製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

設置ガイド

プリンター本体の設置、オプション製品(増設メモリー、内蔵増設ハードディスク装置)の取り付けについて説明しています。プリンターを設置するときにお読みください。



取扱説明書 <本書>

設置時のプリンターの設定やネットワークの環境設定、プリンタードライバーのインストール、電源の入/切、印刷の中止などの基本的な操作、用紙のセット方法、プリンターの各種設定項目、トラブル時の対応、消耗品の交換など、日常プリンターを利用するときに必要なことについて説明しています。

このマニュアルは、本体に同梱されている「マニュアルCD」のCD-ROMに電子マニュアルとして入っています。



オプションマニュアルの種類

オプション製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

PostScript®ソフトウェアキット取扱説明書

PostScript®ソフトウェアキットのROMの設置方法、PostScript® Driver Libraryに入っているソフトウェアの説明やインストール方法、および使用方法を説明しています。

ART /エミュレーションキット取扱説明書

ART /エミュレーションキットのROMの設置方法、「ART 」、または「ESC/P」、「HPGL/2」の各エミュレーションモードの設定方法、使用できるフォントなどについて説明しています。

補足

PostScript®ソフトウェアキットとART /エミュレーションキットは、同時に装着できません。

本書の読み方

ここでは、本書の読み方について説明します。

このプリンター、ドライバーおよびユーティリティーは富士ゼロックス株式会社より提供を受けております。

なお、本文中に記載されています「DocuPrint C2221(C2220)」は、「IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター」と読み替えてください。

また、「CentreWare ドライバー & ネットワークユーティリティーのCD-ROM(CentreWareのCD-ROM)」は、「サポートCD」と読み替えてください。

前提知識

本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムに付属の説明書をお読みください。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

第1章 プリンター環境の設定

ローカルプリンター、またはネットワークプリンターとして使用する場合の接続例と、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。

第2章 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーのインストールについて説明しています。

第3章 印刷操作の前に

各部の名称と働き、電源の入/切、節電機能について説明しています。

第4章 印刷する

印刷の基本的な操作や印刷の中止方法、主な印刷機能について説明しています。

第5章 便利なツールを使用する

クライアント側から本機の状態の確認、設定の変更をするツール(CentreWare Internet Services)について説明しています。

第6章 日常管理

用紙について、用紙のセット方法、消耗品の交換方法など、日常の管理について説明しています。

第7章 トラブル対処方法

トラブル(紙づまり、エラーメッセージなど)が発生したときの対処方法について説明しています。

第8章 共通メニューの設定

プリンターの操作パネルから設定できる、すべてのプリントモードに共通の項目の概要と、その設定方法について説明しています。

第9章 ネットワーク環境の設定について

各ネットワークの動作環境や設定手順について説明しています。

付録

主な仕様やQ&Aなどを記載しています。

本書の表記

本文中の「クライアント」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

- 注記** 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
- 補足** 補足事項を記述しています。
- 参照** 参照先を記述しています。

本文中では、次の記号を使用しています。

- 参照** 「 」：参照先は、本書内です。
- 参照** 『 』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。
- 「 」 ：フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD-ROMなどの名称を表します。
- [] ：クライアント上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。
- キー ：キーボード上のキーを表しています。
- 【 】 ：操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージ、メニューの選択肢や設定値を表します。


チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。


ラジオボタンがチェックされている項目が、選択されている項目です。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



高温注意



発火注意



感電注意



指はさみ注意

⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



禁止



火気禁止



分解禁止



接触禁止

記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



指示



プラグを
抜け



アースを
接続せよ

設置および移動時の注意

注意



高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。



ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。



機械は、重さ122kg(フル装備機：標準+大容量給紙キャビネットモデルの両面機でオフセット排出トレイ付き)に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

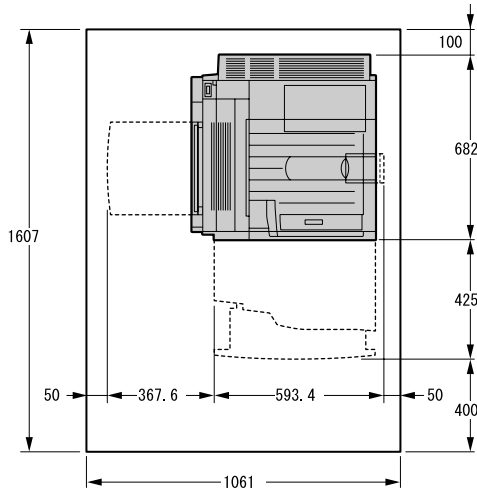


機械を移動するときは、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

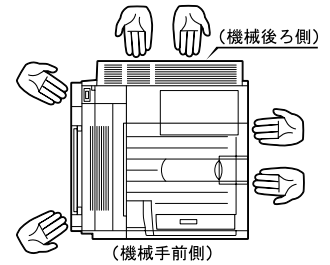


機械の背面、上面奥と上面左側には通気口があります。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



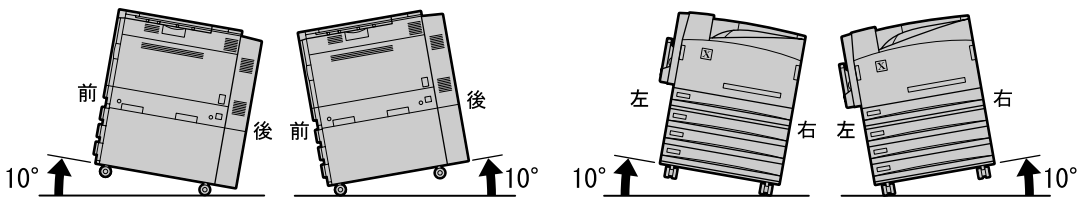
機械は、下図のように、3人以上で持ち上げてください。



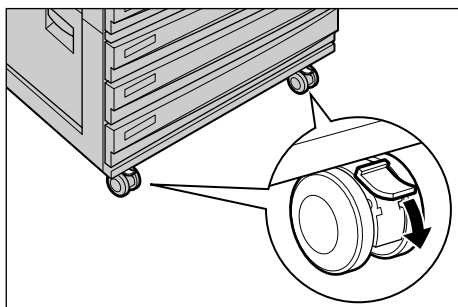
機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。



機械を移動する場合は、機械を10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



機器を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となります。



その他

- いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 10 ~ 32 湿度 15 ~ 85% (結露がないこと)
温度が32 のときは湿度47.5%以下、湿度が85%のときは温度27.8 以下でお使いください。

補足

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

- 直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。
- イーサネットケーブルを直接屋外に接続すると落雷などにより故障するおそれがあります。屋内接続のみ使用してください。

電源およびアース接続時の注意

警告



電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は100V、15Aとなっています。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。



延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。



電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。



電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。



次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線）弊社のテレフォンセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意



機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。



連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。








インターフェイスケーブルおよびオプションを装着するときは、必ず本機とクライアントの電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

その他





機械には、落雷によるサージ電流からの保護回路が内蔵されています。付近に落雷が発生したときは電源スイッチを切り、電源コードを機械から外して、雷がおさまるのを待ってください。

機械使用上の注意

⚠ 警告

-  機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。
-  機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。
-  万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
-  ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
-  機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。また、機械内部のバッテリーは、絶対に取り外さないでください。

⚠ 注意

-  機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガの原因となるおそれがあります。
-  機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。
-  この機械に固定されているカバーは外さないでください。レーザー光漏れによる失明のおそれがあります。
-  この商品は、レーザーの国際規格 IEC825 (Class1) に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは商品内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。



操作パネルの上に重い物を載せたり、ひじをついたりしないでください。ガラスが破損し、ケガをする原因となるおそれがあります。



電気を通しやすい紙（折り紙・カーボン紙・コート紙など）は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。



「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。



「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。



用紙トレイを引き出すときはゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙が定着部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に連絡してください。



狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。頭痛などの原因となるおそれがあります。






フューザーカートリッジを取り外すときには、必ず電源スイッチを切って、20分後にフューザーカートリッジを取り外してください。

その他




紙づまりの処置や故障の処置を行うときは、本書をよくお読みください。

消耗品取り扱い上の注意

⚠ 警告

-  トナーカートリッジを絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
-  トナー、トナー回収ボトル、または、トナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
-  ボタン電池は幼児が誤って飲み込むことのないように、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、幼児が飲み込んでしまった場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

-  指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂や液洩れにより火災やケガの原因となるおそれがあります。
-  ドラムカートリッジを絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因のおそれがあります。
-  電池はプラスとマイナスの向きに注意して入れてください。向きをまちがえると乾電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲の破損をおこす原因となるおそれがあります。

その他

消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。

- 高温、多湿の場所
- 火気のある場所
- 直射日光が当たる場所
- ホコリが多い場所

消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された「取り扱い上の注意」をよく読んでから使用してください。

回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。

- 取り扱い上の注意 -

不要となりましたトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店にお渡しください。

以下の事項に従って、応急措置を行ってください。

- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
- トナーを吸入した場合は、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだ物を吐き出させ、速やかに医師に相談し指示を受けてください。

電源を切るときの注意

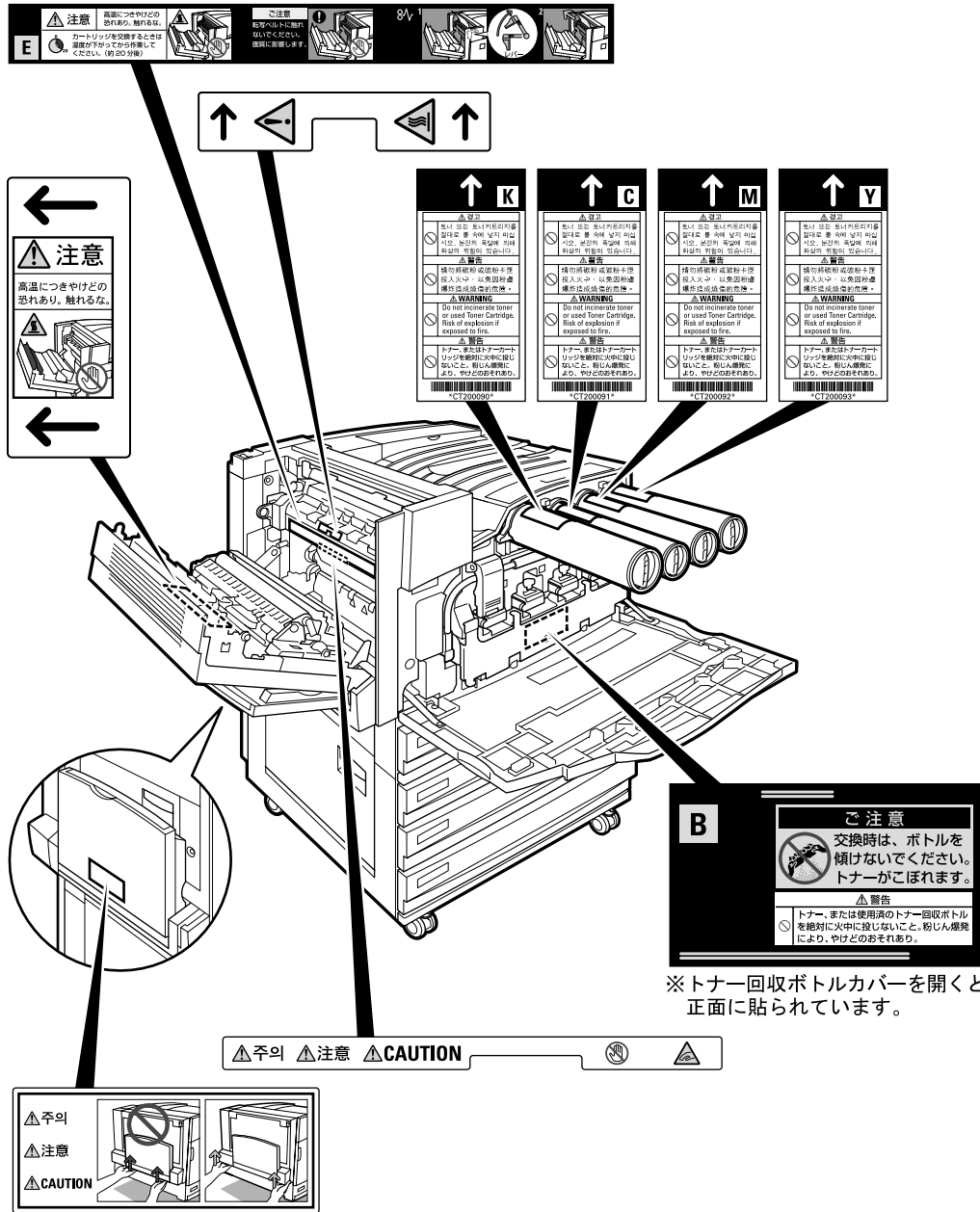
その他

電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

通常の操作時に電源を切るときは、操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】が表示されていることを確認してから、電源を切ってください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

本機には安全にお使いいただくために以下のような警告ラベルおよび注意ラベルが機械内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。



※トナー回収ボトルカバーを開くと正面に貼られています。

国際エネルギースタートプログラムの目的

国際エネルギースタートプログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的としています。本機は、この国際エネルギースタートプログラムの基準に適合しています。

低電力モード（スリープモード）

本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能を持っています。工場出荷時の設定では、30分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に定着部の電力を止めて、消費電力を節約するようになっています。この設定は、15～240分の間で1分刻みに設定できます。操作の詳細については、本書の「8.2 共通メニューの設定を変更する（P.233）」を参照してください。なお、共通メニューでは「低電力モード（スリープモード）」は、「節電モード」と表示されます。

1 章

プリンター環境の設定

1.1	使用できる環境について	2
1.2	プリンター本体を簡単にセットアップする	6
1.3	プリンター環境の設定の流れ	8
1.4	IPアドレスを設定する	9
1.4.1	設定の流れ	9
1.4.2	アドレスの設定	11
1.5	ポートを設定する	14
1.5.1	ポートを起動する	14
1.5.2	SNMPエージェントを起動する	15
1.5.3	SMBのポート、プロトコルを起動する	17
1.6	メモリーの割り当てについて	19

1.1

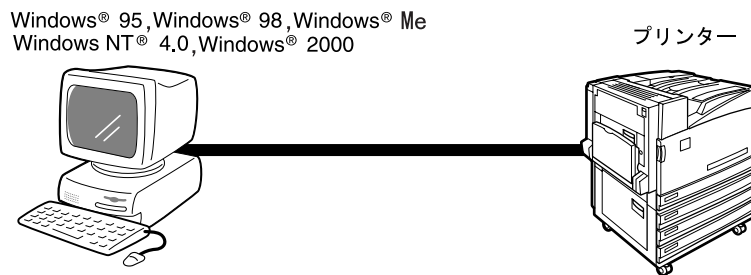
使用できる環境について

本機を使用できる環境について説明します。

本機をネットワークに接続すると、ネットワークプリンターとして使用できます。また、本機はマルチプロトコルに対応しているため、異なるネットワーク環境でも、1台のプリンターを共有できます。

ローカル

本機とコンピューターを、パラレルインターフェースケーブルで接続して印刷します。



注記

パラレルインターフェースケーブルは、弊社別売りのものをご使用下さい。弊社取り扱い以外のパラレルインターフェースケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。

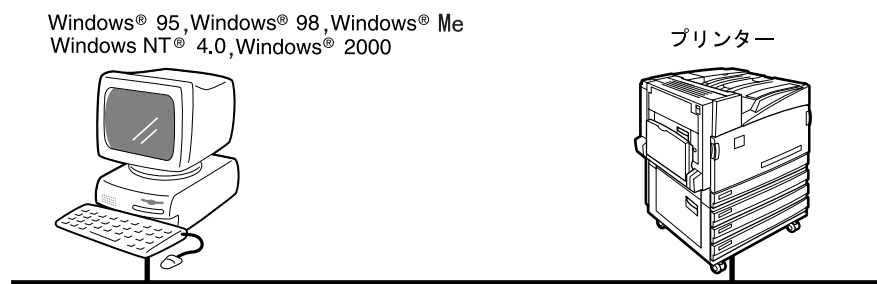
Windows®ネットワーク(SMB)

SMB (Server Message Block)とは、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000上でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルです。SMBを使用すると同一ネットワーク(Ethernetインターフェイス)上のプリンターに、サーバーなどを経由せず、印刷データや設定を直接送信できます。

本機のSMBポートを起動し、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000の各OSで、ネットワーク上のプリンターを登録するだけで印刷できます。SMBのトランスポートプロトコルは、NetBEUIとTCP/IPが使用できます。

参照

「9.1 Windows® ネットワーク(SMB)環境での設定について」(P.252)を参照してください。



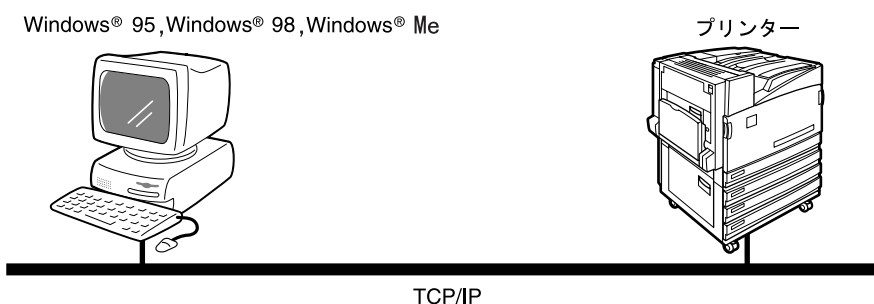
NetBEUIまたはTCP/IP

●●● TCP/IP Direct Print Utility

TCP/IP Direct Print Utilityとは、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントから、同一ネットワーク(Ethernetインターフェイス)上のプリンターに、サーバーなどを経由せずに印刷データを直接送信し、印刷することを可能にした弊社製ソフトウェアツールです。本機はTCP/IP(Ipd)をサポートしているので、このツールを使用すると、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントから、印刷データを直接送信して印刷できます。この場合、本機とWindows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントには、IPアドレスの設定が必要です。

参照

「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)、「1.5 ポートを設定する」(P.14)、「2.2.1 ネットワーク上のプリンターヘダイレクトに印刷する場合」(P.27)を参照してください。



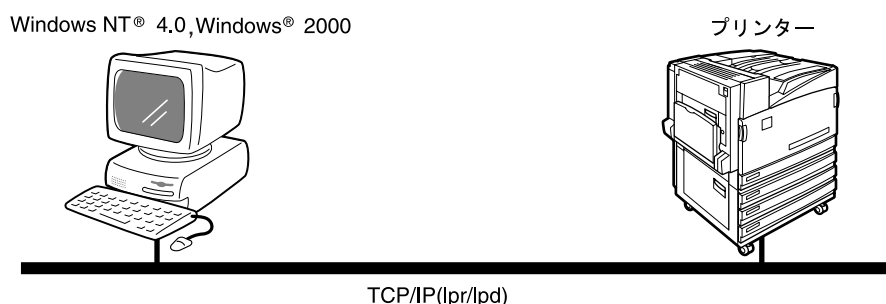
●●● TCP/IP(Ipd)

本機は、TCP/IP(Ipd)をサポートしているので、Windows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントから、SMBだけでなくIprで印刷データを直接送信し、印刷できます。この場合は、本機とWindows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントには、IPアドレスの設定が必要です。

また、Windows NT® 4.0、Windows® 2000上に登録したプリンターを共有に設定することで、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントからも、この共有プリンターに接続して印刷できます。

参照

「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)、「1.5 ポートを設定する」(P.14)、「2.2.3 サーバーを経由して印刷する場合」(P.36)を参照してください。

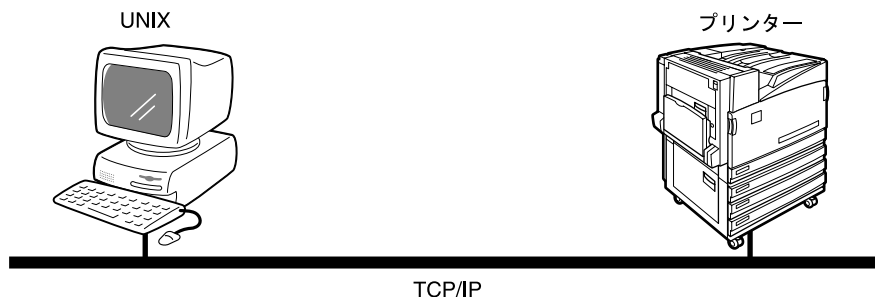


●●● TCP/IP (UNIX)

本機は、トランスポートプロトコルとしてTCP/IPをサポートする、lpd (Line Printer Daemon Protocol) が使用できます。lpdを利用して、本機をUNIXのネットワーク環境で使用します。本機とUNIXクライアントには、IPアドレスの設定が必要です。本機で使用できるインターフェイスは、Ethernet 100Base-TX、Ethernet 10Base-Tです。適応するフレームタイプは、Ethernet に準拠しています。

参照

「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)、「9.3 UNIX環境での設定について」(P.263)を参照してください。



●●● NetWare®

本機は、NetWare® 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1までの各バージョンに対応し、バイナリおよびND\$ (4.11J以上) でプリントサーバー (PServer) モードだけをサポートしています。

プリントサーバーモードでは、プリンター自身がプリントサーバーとして動作し、プリントキューにあるジョブを取り出して印刷します。本機は、ファイルサーバーのユーザーライセンスを1つ消費します。

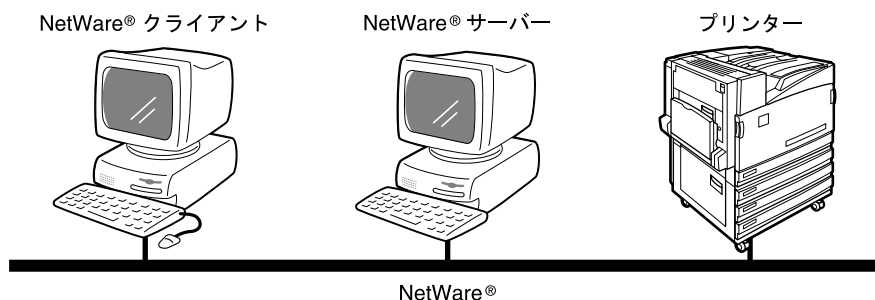
TCP/IP、IPX/SPXのどちらか、または両方を使用できます。

注記

リモートプリンター (RPrinter) モードはサポートしていません。

参照

コンピューター環境や設定の流れについては、「9.2 NetWare®環境での設定について」(P.260)を参照してください。

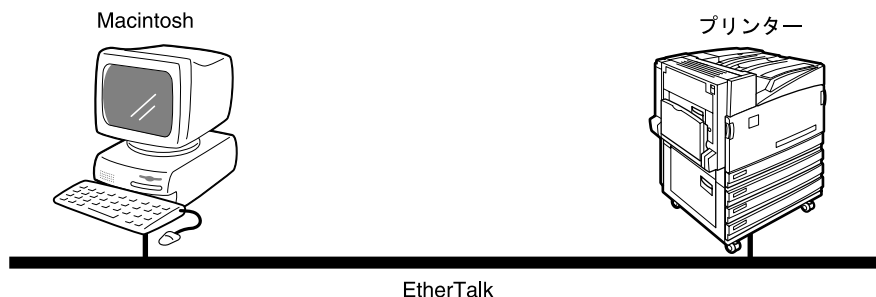


●●● AppleTalk

本機は、AppleTalkプロトコルをサポートしているので、Macintoshから印刷できます。

補足

Macintoshから印刷するには、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。



●●● インターネット印刷

本機は、IPP(Internet Printing Protocol)をサポートしています。Windows® 2000、Windows® Meは、IPPプリンターに印刷するためのクライアントソフト(IPPポートモニター)を装備しているので、[プリンタの追加]ウィザードから、IPP対応プリンターを指定できます。IPPを利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンターに印刷できます。

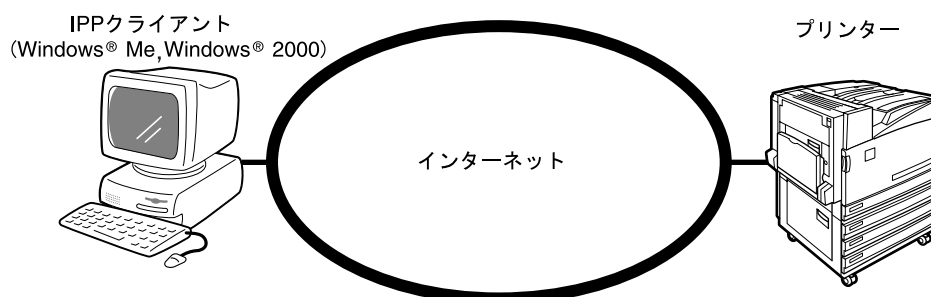
トランスポートプロトコルは、TCP/IPを使用します。対象OSは、Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版(ServicePack 1を含む)、Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版(ServicePack 1を含む)、Microsoft® Windows® Me 日本語版です。

注記

Windows® Meの場合、インターネット印刷を利用するには、IPPポートをインストールする必要があります。IPPポートのインストール方法については、Windows® Meに付属の説明書を参照してください。

参照

IPPを利用する場合は、「9.4 インターネット印刷での設定について」(P.264)を参照してください。



1.2 プリンター本体を簡単にセットアップする

プリンター環境の設定をする場合、プリンター本体のクイックセットアップメニューを使用すると、必要最低限の項目が一度に設定できます。

クイックセットアップメニューでは、以下の設定ができます。

- ジョブ履歴レポートを自動で印刷するかどうかの設定
処理を行ったプリントジョブに関する情報(ジョブ履歴レポート)を、自動的に印刷するかどうかを設定します。ジョブ履歴レポートには、最新の50件までの印刷ジョブが印刷されます。このジョブ履歴レポートを、印刷ジョブが50件超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを設定します。
- システム時計の設定
本機のシステム時計の日付(年/月/日)と時刻(時/分)を、西暦(4桁、2000～2099年の範囲)・24時間表示で設定します。ここで設定された日付/時刻がリストやレポートに印刷されます。(日付：YYYY/MM/DD、時刻：HH/MMの形式で入力します。)
- ネットワークのポート、プロトコルおよびスプールの設定
(SMB、Ipd、IPP、NetWare、EtherTalk(オプション)、SNMP)
SMB、Ipd、IPP、NetWare、EtherTalk(オプション)は、ネットワーク環境に合わせて、使用するポート、プロトコル、スプールの設定をします。SNMPは、CentreWareなどの複数のプリンターをリモートで管理するソフトウェアを使う場合に設定します。
- インターネットサービスを使用するかどうかの設定
インターネットサービス(CentreWare Internet Services)を使用すると、Webブラウザを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。
- DHCP、BOOTPを使用するかどうかの設定、およびIPアドレスの設定
(TCP/IPを使用する場合だけ設定します)
TCP/IPを使うために必要な情報(IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス)をDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー、またはBOOTPから自動的に取得するかどうかを設定します。DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー、またはBOOTPを使用しない場合は、IPアドレスを手動で入力します。

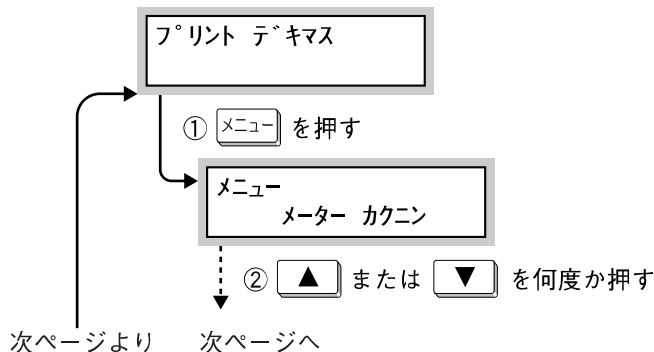
クイックセットアップメニューを使用すると、一連の流れに従って複数のポートを一度に設定することができます。

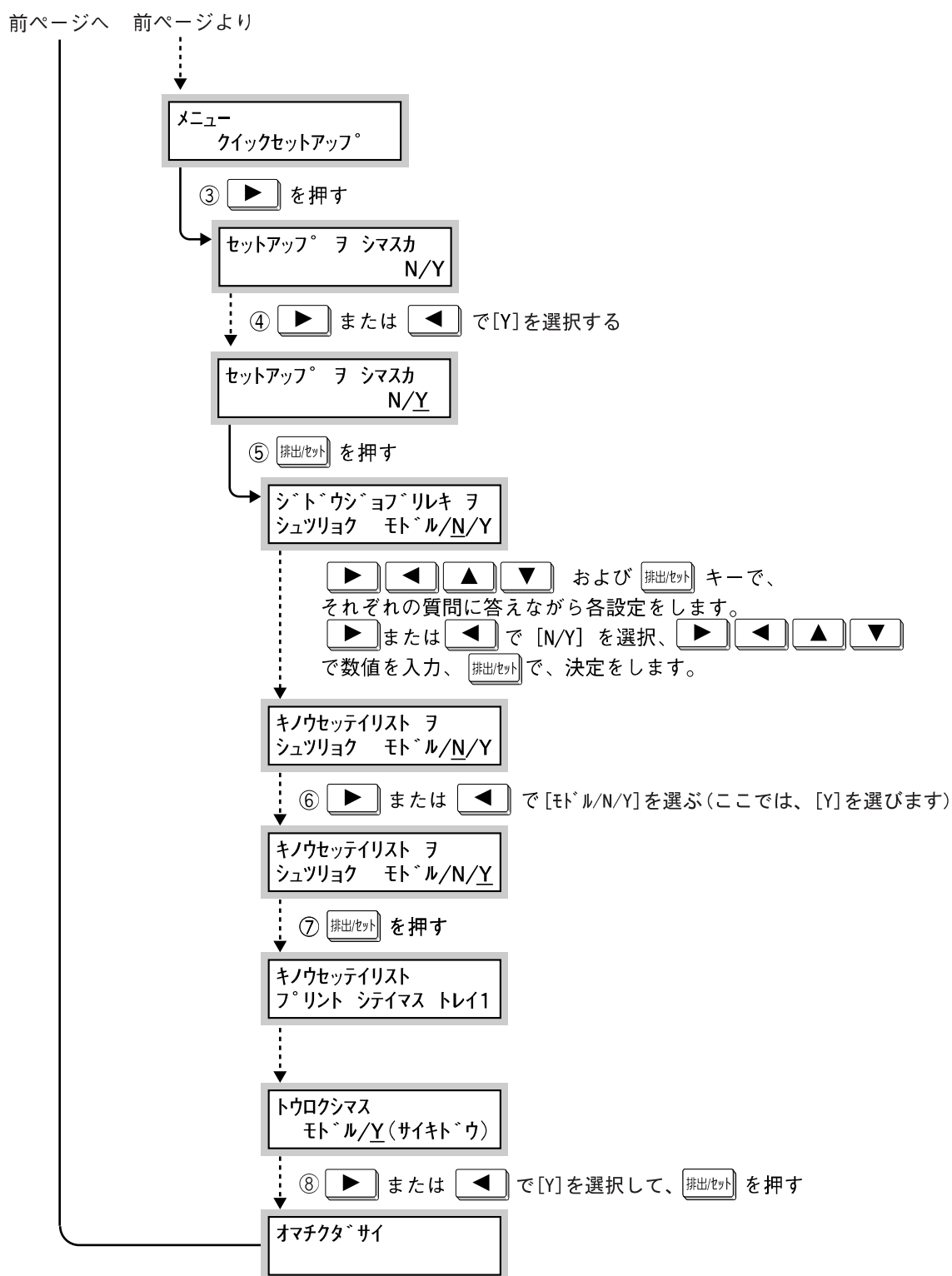
補足

クイックセットアップで設定できない項目や個別に設定する方法については、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。

操作手順

操作パネルで、以下の手順に従って、必要な設定をします。





(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

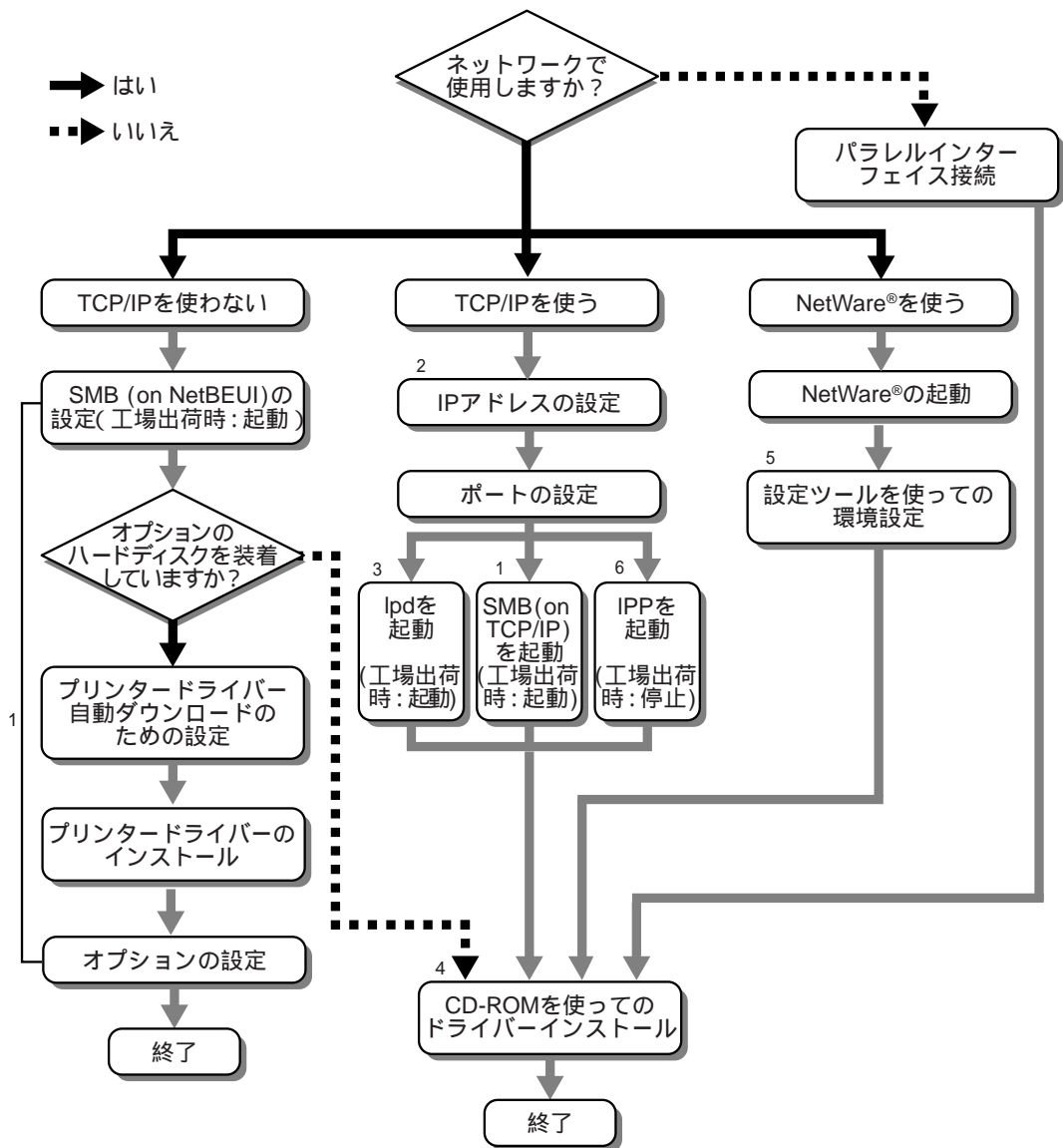
補足

セットアップ中に [メニュー] を押した場合は、設定内容は無効となります。

1.3 プリンター環境の設定の流れ

プリンターの環境を設定する流れについて説明します。

フローチャートに沿って、それぞれのプリンター環境に必要な設定を確認してください。時刻やネットワーク、IPアドレスなどの設定を簡単にセットアップすることもできます。詳細は、「1.2 プリンター本体を簡単にセットアップする」(P.6)を参照してください。



- 1 「9.1 Windows® ネットワーク(SMB)環境での設定について」(P.252)を参照してください。
- 2 「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)を参照してください。
- 3 「1.5 ポートを設定する」(P.14)を参照してください。
- 4 「第2章 プリンタードライバーのインストール」(P.23)を参照してください。
- 5 「9.2 NetWare® 環境での設定について」(P.260)を参照してください。
- 6 「9.4 インターネット印刷での設定について」(P.264)を参照してください。

1.4

IPアドレスを設定する

ここでは、IPアドレスの設定方法について説明します。

ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上に、DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を起動しているWindows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントがある場合、本機はこれらのアドレス情報をDHCPサーバーから取得できます。

工場出荷時の設定では、これらのアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得するようになっています。

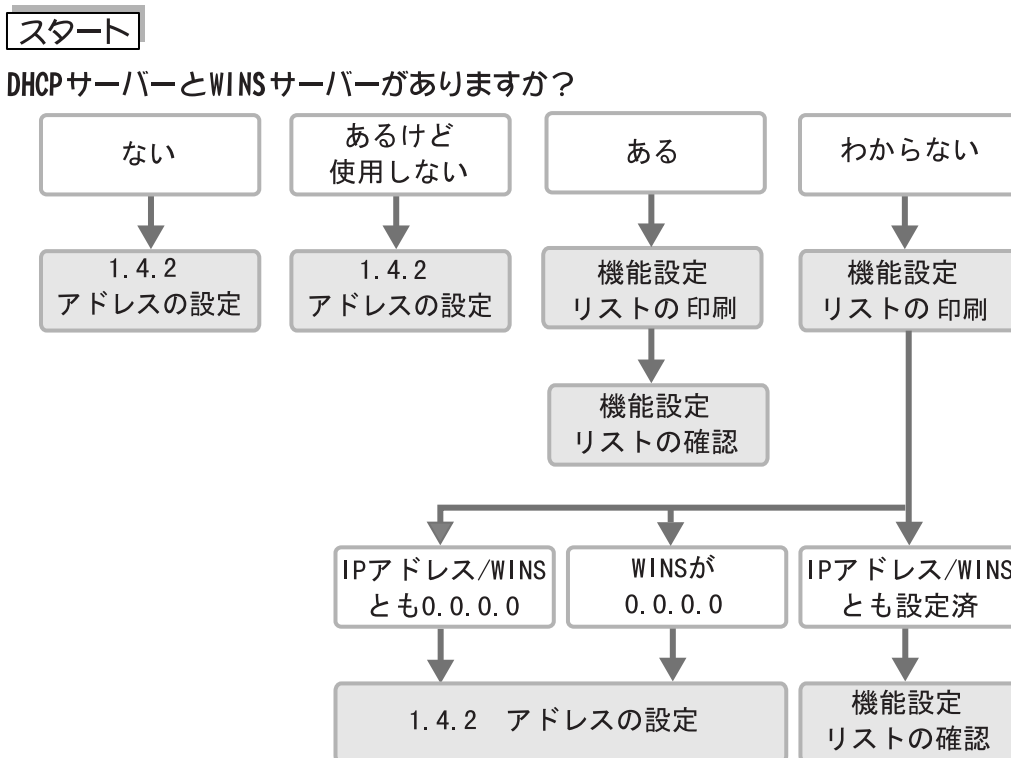
注記

DHCPサーバーを使用する場合、同時にWINS(Windows Internet Name Service)サーバーも使用してください。

1.4.1 設定の流れ

DHCPサーバーがあるかどうか分からないときは、ここで説明する操作手順に従って、DHCPサーバーの有無を確認します。DHCPサーバーがある場合は、IPアドレスは自動的に設定されるので、IPアドレスの入力は不要です。DHCPサーバーがない場合は、「1.4.2 アドレスの設定」(P.11)を参照し、IPアドレスを設定してください。

●●● DHCPサーバーの確認



補足

DHCP環境について不明な場合は、システム管理者にお尋ねください。

●●● 設定リストの印刷

操作手順

- ① 「6.3 レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照して、「機能設定リスト」を印刷します。
- ② 「機能設定リスト」の「コミュニケーション設定」項目の、「TCP/IP：IPアドレス」、「TCP/IP：サブネットマスク」、「TCP/IP：ゲートウェイアドレス」、「WINS：プライマリーWINSサーバー」、「WINS：セカンダリーWINSサーバー」のアドレスを確認します。「機能設定リスト」の確認方法については、次の「設定リストの確認」を参照してください。

●●● 設定リストの確認

TCP/IP、WINSともにアドレスが取得されていない場合

DHCPサーバーとWINSサーバーは存在しません。「1.4.2 アドレスの設定」(P.11)を参照し、IPアドレスを設定してください。

TCP/IPにアドレスは取得されているが、WINSにアドレスが取得されていない場合

WINSサーバーは存在しません。本機に割り当てられているIPアドレスが変更になった場合に印刷できなくなる可能性があるため、DHCP環境を使用しないでください。「1.4.2 アドレスの設定」(P.11)を参照し、手動で本機のIPアドレスを設定してください。

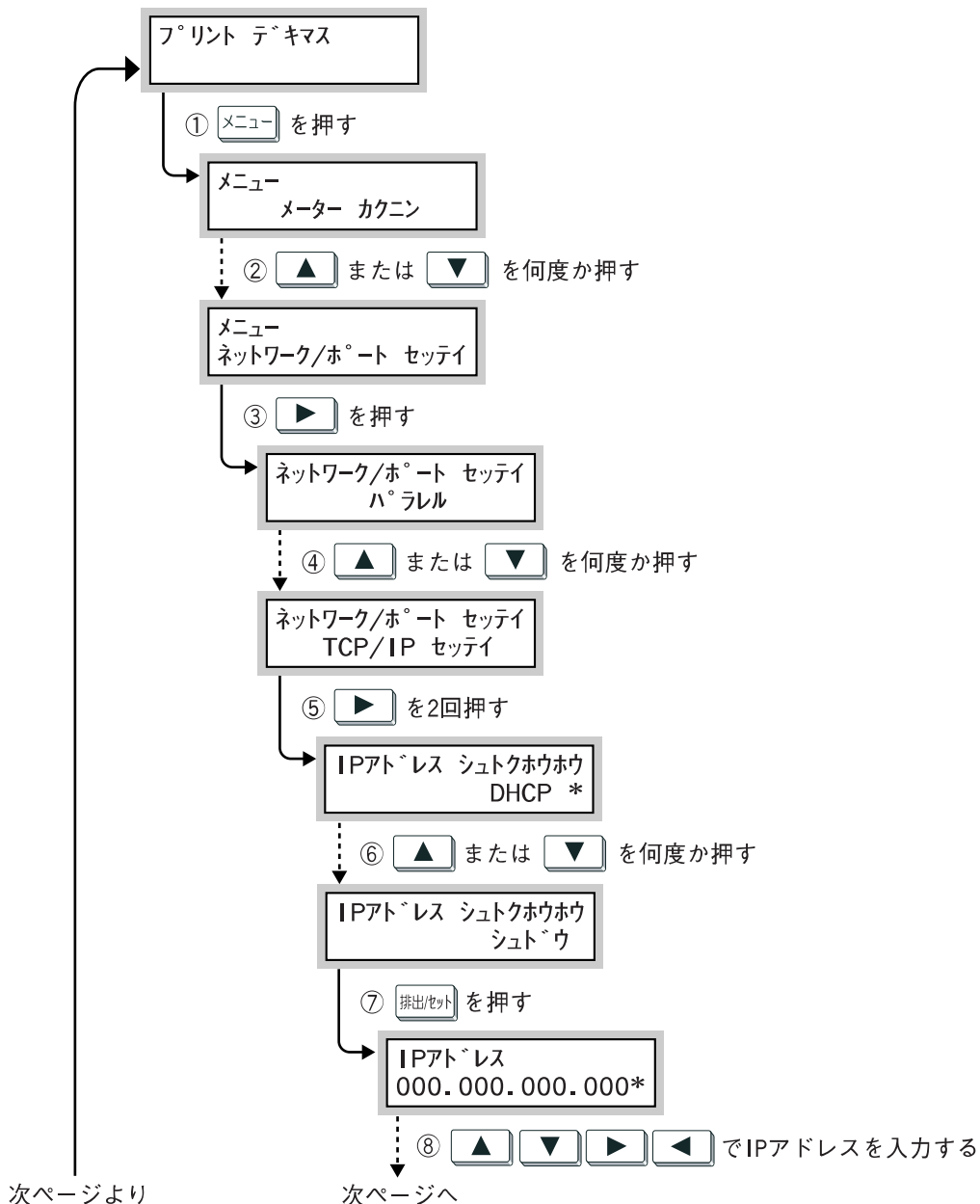
TCP/IP、WINS共にアドレスが取得されている場合

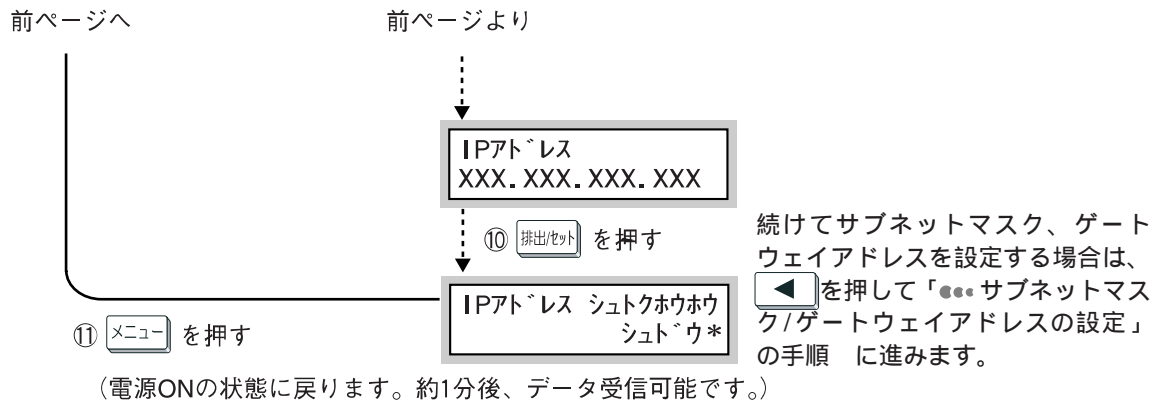
DHCPサーバーとWINSサーバーが稼動しています。DHCP環境を使用することをお勧めします。本機のIPアドレスはDHCPサーバーが設定します。WINSサーバーには、「機能設定リスト」の「SMB」項目の「ホスト名」に記載された名前(FX-xxxxxx)が登録されます。

1.4.2 アドレスの設定

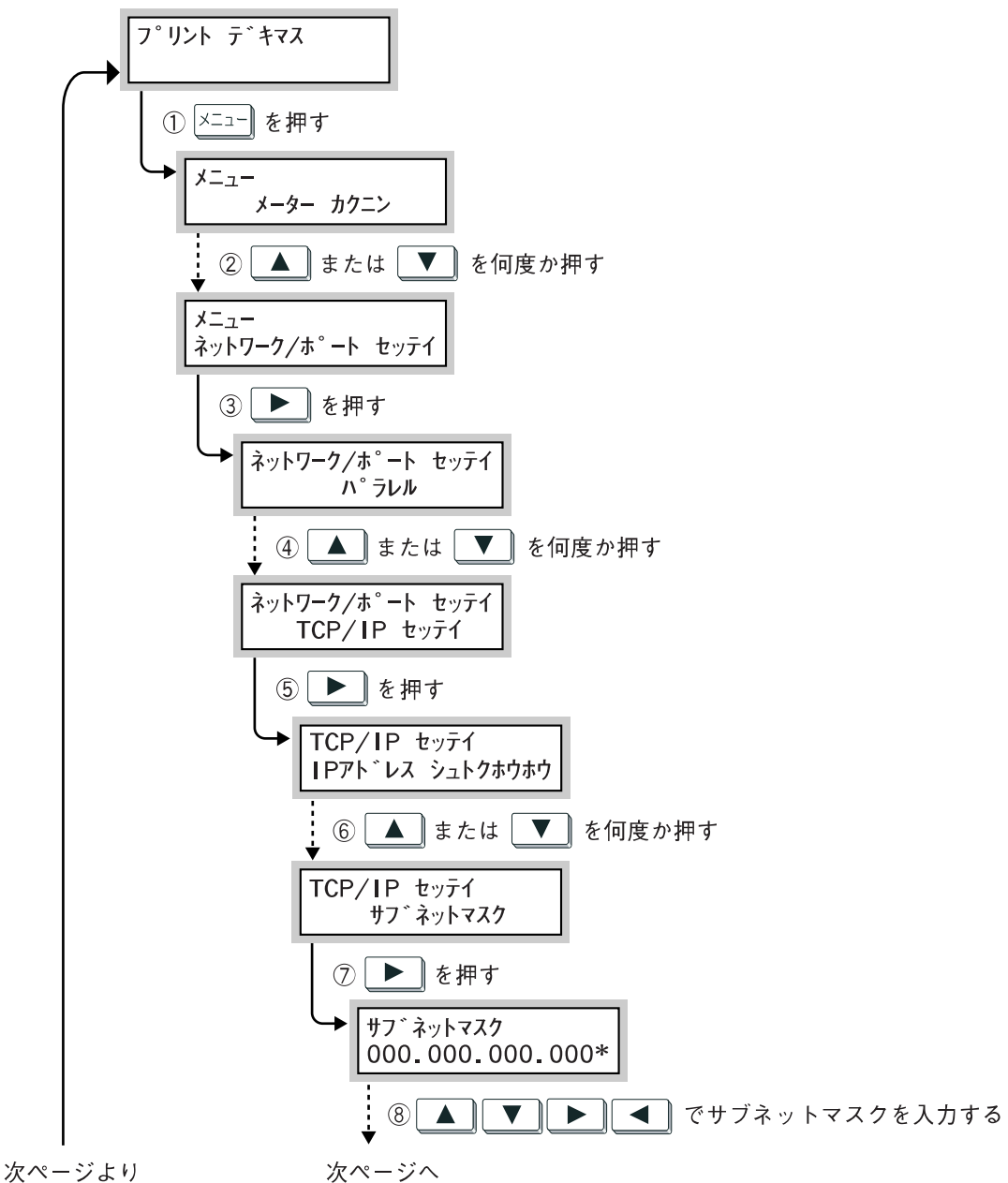
ここでは、操作パネルでIPアドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。なお、IPアドレスの設定の初期表示が異なる場合があります。最初に、【IPアドレスノシュトクニシツパイシマシタ】と表示された場合は、**メニュー**を押して、 から操作を始めてください。

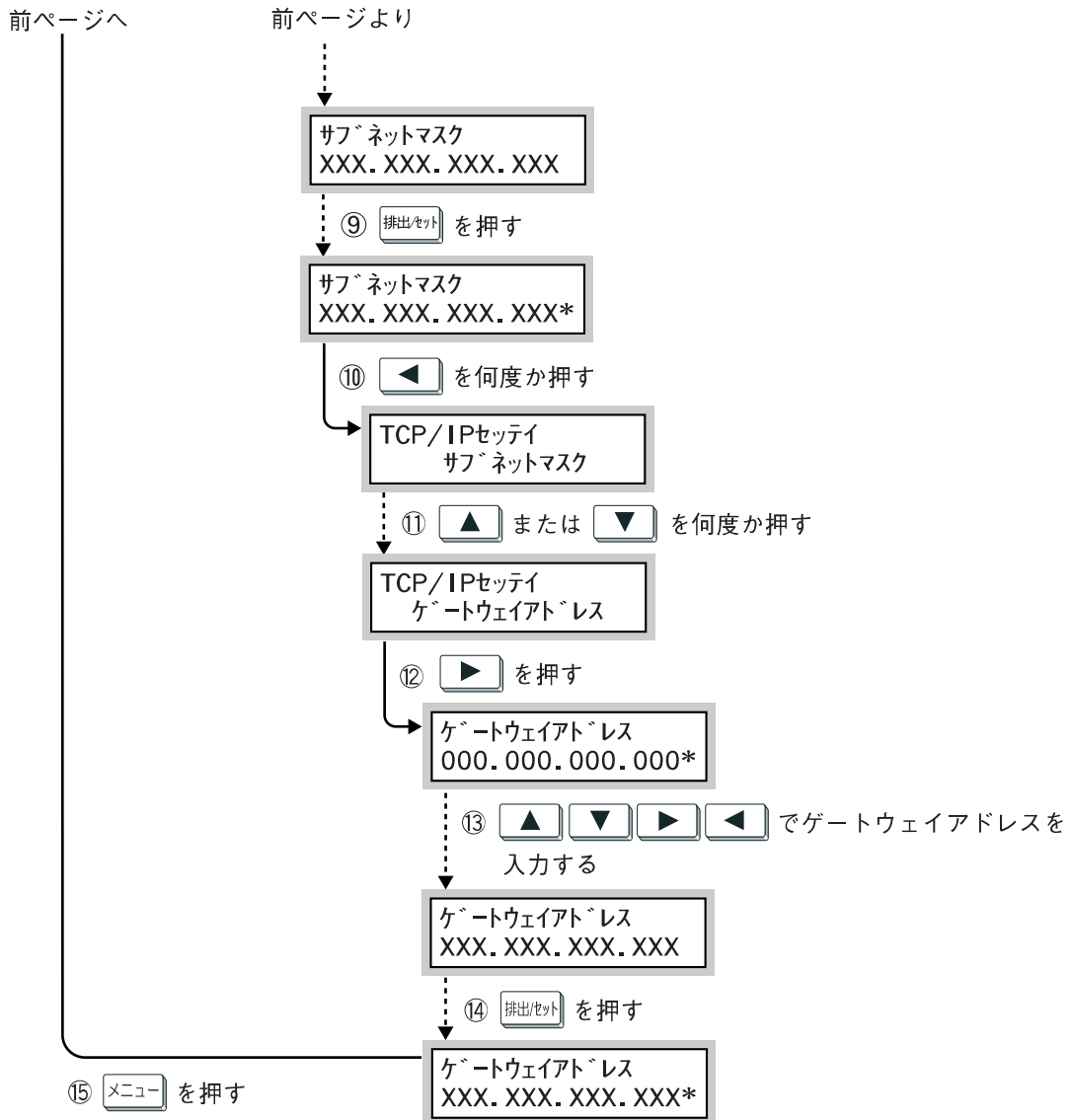
●●● IPアドレスの設定





●●● サブネットマスク/ゲートウェイアドレスの設定





(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

1.5 ポートを設定する

IPアドレスの設定、または設定を確認したあと、使用するポートの起動と、必要に応じてトランスポートプロトコルの設定をします。

ここでは、ポートを「起動」に設定する手順、SNMPエージェント(工場出荷時：起動)を「起動」に設定する手順、SMBポート(工場出荷時：起動)およびトランスポートプロトコルを設定する手順について説明します。

SNMPエージェントは、CentreWareなどのプリンターをリモートで管理するソフトウェアを使うときに起動します。必要に応じて設定してください。

SMBポートは、Windows®ネットワーク(SMB)環境で本機を使用するときに起動します。必要に応じて設定してください。

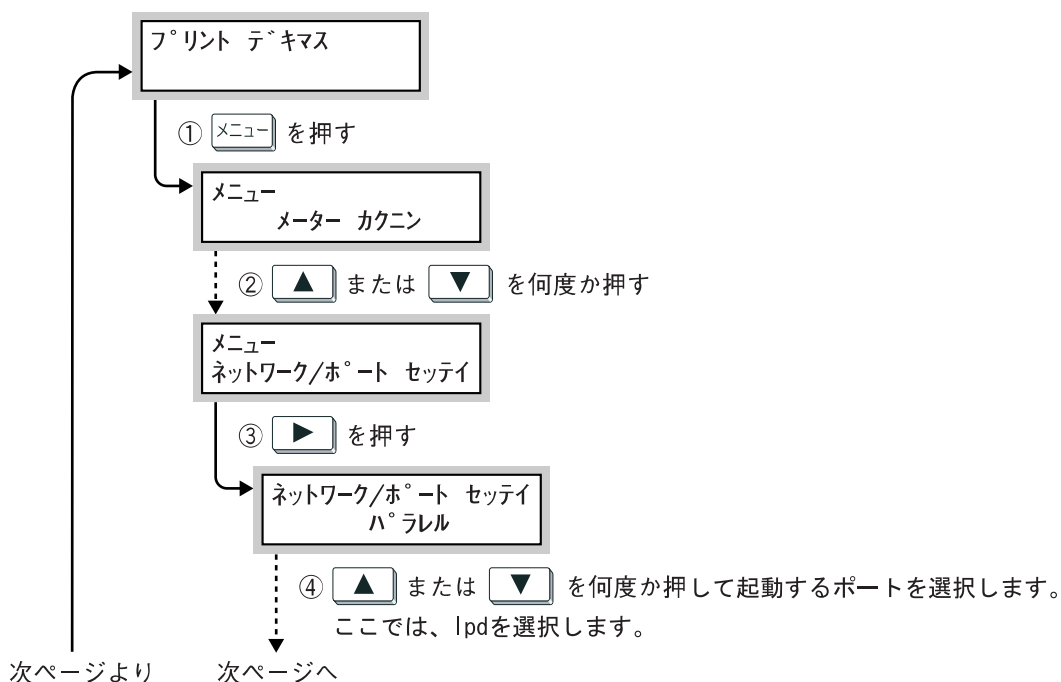
また、CentreWare Internet Servicesからもポートを設定できます。詳しくは、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Service)」(P.110)参照してください。

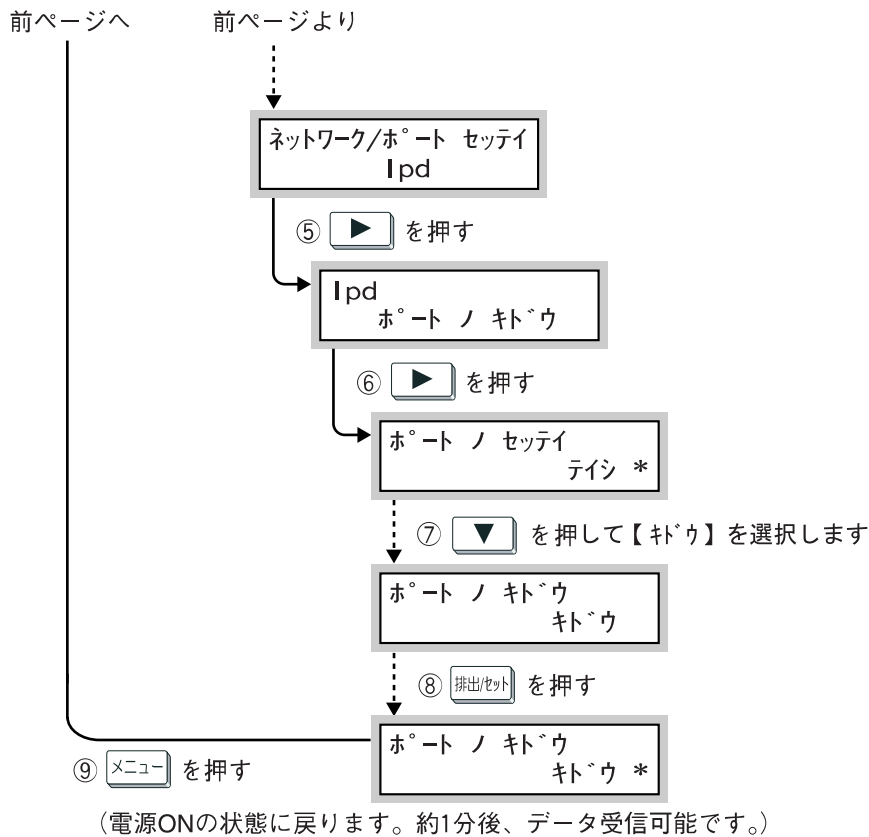
参照

- EtherTalkポートを使用する場合は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。
- ポートの設定をする前に、「第9章 ネットワーク環境の設定について」(P.251)を参照し、各環境の設定の流れを確認してください。

1.5.1 ポートを起動する

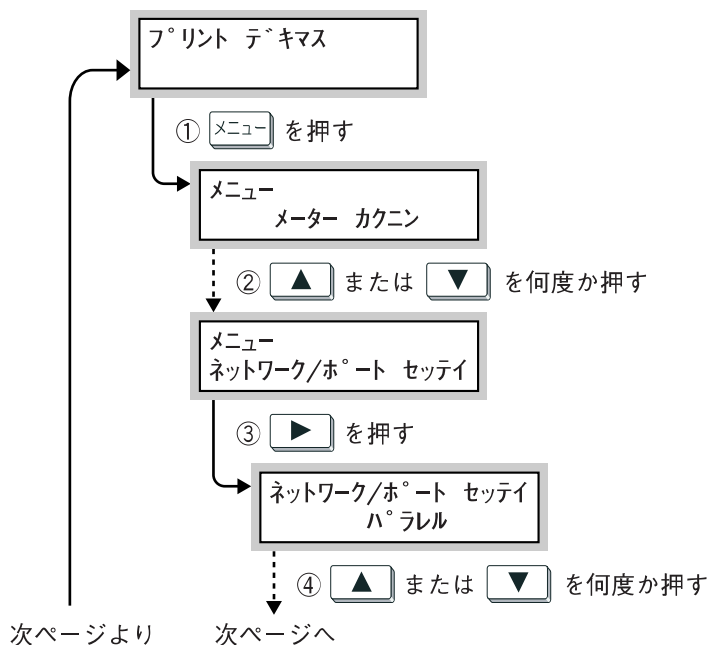
ここでは、例としてlpdポートを起動状態にする手順について説明します。

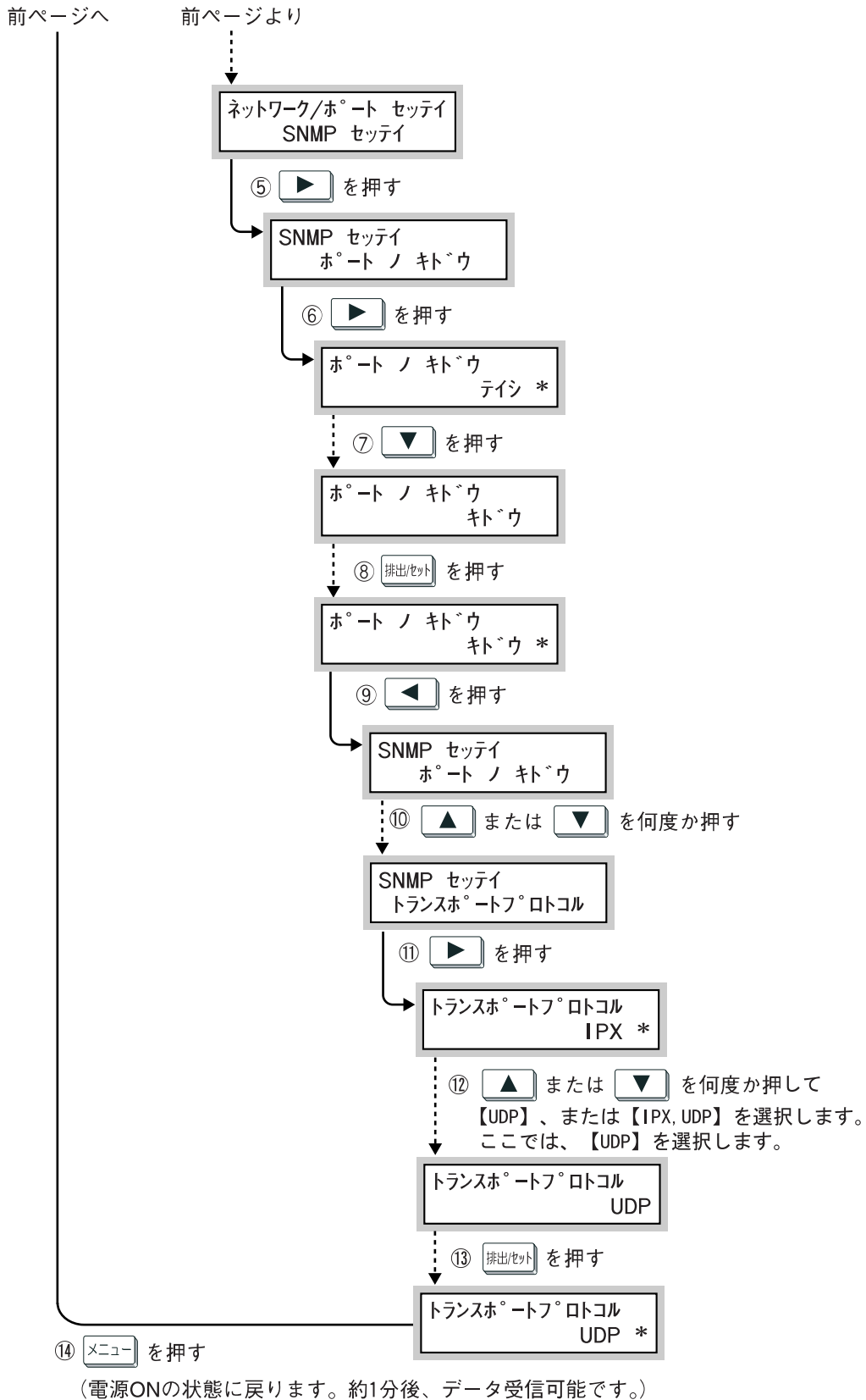




1.5.2 SNMPエージェントを起動する

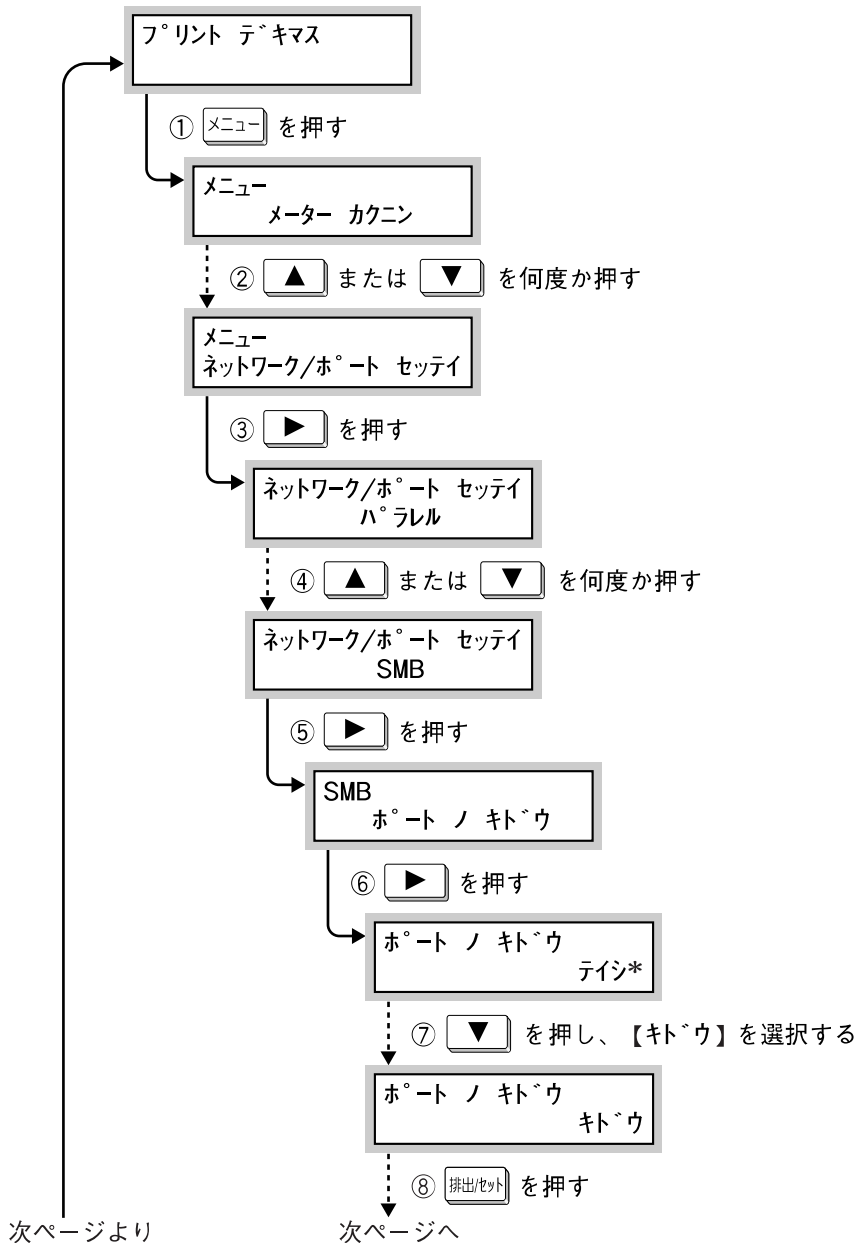
以下の手順に従って、SNMPエージェントと、トランスポートプロトコルの【UDP】、または【IPX,UDP】を起動状態にします。

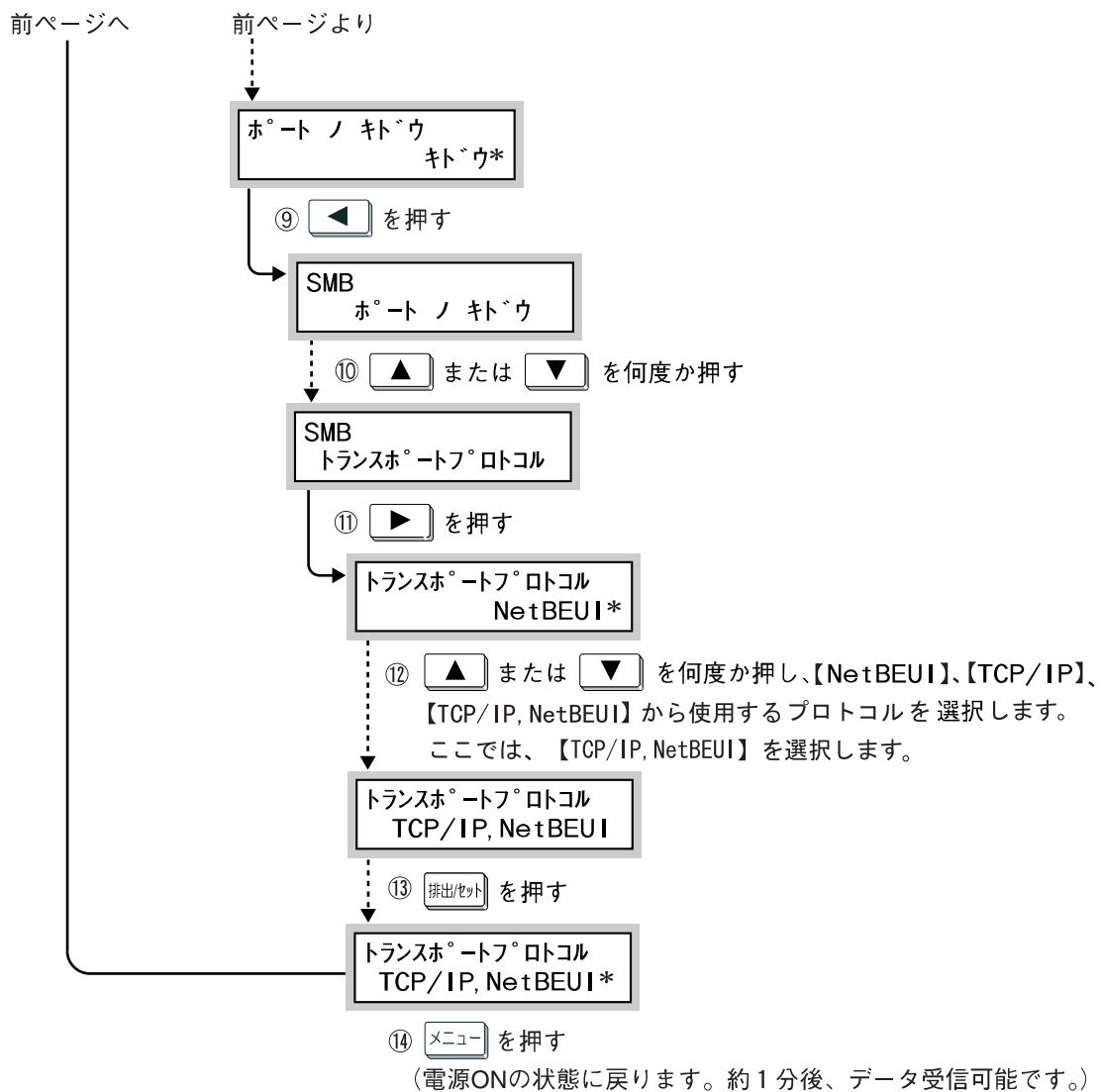




1.5.3 SMBのポート、プロトコルを起動する

以下の手順に従って、SMBポートを起動し、トランスポートプロトコルを設定します。ここでは、例として、トランスポートプロトコルを【TCP/IP, NetBEUI】に設定する手順について説明します。





1.6 メモリーの割り当てについて

ここでは、メモリーの割り当てについて説明します。

本機では、下表の用途にメモリーが割り当てられます。なお、オプションの装着状態によって、割り当てられるメモリーの種類が異なります。

メモリーの種類	標準	ART	PS
プリントページバッファ	○	○	○
ART EXフォームメモリー			
ART フォームメモリー	×		×
ART ユーザ定義メモリー	×	○	×
HPGLオートレイアウトメモリー	×		×
PS使用メモリー	×	×	○
受信バッファ容量	○	○	○

：内蔵増設ハードディスク装置装着時は設定できません。

ART : ART /エミュレーションキット

PS : PostScript®ソフトウェアキット

補足

オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着すると、lpd、SMB、IPPの受信バッファ容量の[ハードディスクスプール]を設定できるようになります。必要に応じて、[ハードディスクスプール]を設定してください。

メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、またはCentreWare Internet Servicesで設定できます。メモリーの割り当ての設定は、電源を入れたとき(または、システムリセット時)に変更されます。

参照

- 各メモリーの容量、スプールの初期値などの詳細や操作パネルでの設定については、「8.2 共通メニューの設定を変更する」(P.228)を参照してください。
- CentreWare Internet Servicesの操作については、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

●●● プリントページバッファ

実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。したがって、プリントページバッファの容量を直接変更することはできません。実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、「機能設定リスト」の[メモリー]項目で確認できます。

解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。

参照

- 「機能設定リスト」の印刷方法については、「6.3 レポート/リストを印刷する」(P.149)を参照してください。
- プリントページバッファの容量は、CentreWare Internet Servicesを使っても確認できません。CentreWare Internet Servicesについては、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

補足

ART EXプリンタードライバーで「ページ印刷モード」を「スル」に設定した場合、プリントページバッファを一定の容量以上確保する必要があります。確保する必要があるプリントページバッファの容量は、解像度に依存します。以下は確保する必要があるプリントページバッファの目安の数値です。ページ印刷モードについては、「4.2 主な印刷機能一覧」(P.63)を参照してください。

- 600dpiのとき
 - 内蔵増設ハードディスク装置非装着時 : 73MByte
 - 内蔵増設ハードディスク装置装着時 : 113MByte
- 1200×600dpiのとき
 - 内蔵増設ハードディスク装置非装着時 : 140MByte
 - 内蔵増設ハードディスク装置装着時 : 221MByte

●●● ART EXフォームメモリー

ART EXフォームで使うメモリー容量を指定します。

●●● ART フォームメモリー

ART フォームで使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART /エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

●●● ART ユーザー定義メモリー

ART ユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART /エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

●●● HPGLオートレイアウトメモリー

HP-GL/2オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART /エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

●●● PS使用メモリー

PostScript®の使用メモリー容量を指定します。この項目は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。

●●● 受信バッファ容量

クライアントからの受信データを一時的に蓄積するための領域です。複数のポートからのデータを同時に受信するために、ポートごとに受信バッファを用意しています。受信バッファには、次の種類があります。

- パラレル用受信バッファ
- lpd用受信バッファ
- NetWare用受信バッファ
- SMB用受信バッファ
- IPP用受信バッファ
- EtherTalk用受信バッファ

受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなる場合があります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。また、使用していないポートは、ポート状態を停止にして、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。

lpd/SMB/IPPでは、スプール処理を指定することができます。工場出荷時は【スプールシナイ】に設定されています。スプールには、【メモリースプール】と【ハードディスクスプール】があります。【メモリースプール】を指定した場合、設定した容量を超えるデータは受信できません。この場合は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着し、【ハードディスクスプール】を指定してください。

補足

- EtherTalkを設定するには、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。
- IPPは、【メモリースプール】の設定はできません。

スプールには、スプールモードとノンスプールモードがあります。

スプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、一時的に本機側のスプールファイルに格納して印刷処理をするモードです。スプールファイルの格納先は、本機内のメモリーを使ったRAMディスク、または本機に接続されたハードディスクから選択できます。印刷データのスプール後の処理はすべて本機側で行われるので、クライアントのアプリケーションが早く解放されます。複数のクライアントからの要求を同時に処理できます。

ノンスプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、本機側で受信しながら印刷処理を行うモードです。本機がクライアントからの印刷要求を処理している場合、ほかのクライアントからの印刷要求は受け付けません。